

=====

CHINA IP Newsletter JETRO 北京事務所知的財産権部 知財ニュース
2021/9/27号 (No. 434)

=====

○ 法律・法規等

1. 北京、「知的財産権保護条例（草案）」を審議 技術調査官制度導入へ（北京市知識産権局公式サイト 2021年9月23日）

○ 中央政府の動き

1. 中国政府、2035年に向けた「知的財産権強国建設綱要」を発表（国家知識産権網 2021年9月22日）
2. CNIPA 甘紹寧副局長と USCBC マルグリーズ副会長がビデオ会談（国家知識産権網 2021年9月18日）
3. 在中国米国商工会議所代表団が国家知識産権局を訪問（国家知識産権網 2021年9月16日）

○ 地方政府の動き

【華東地域】

1. 安徽、市場監督管理局など13部門が「網剣行動」を共同実施（中国打撃侵権工作網 2021年9月18日）
2. 上海、ブランド評価モデルの開発と利用プロジェクトが開始（中国知識産権资讯网 2021年9月18日）

【華南地域】

3. 広州で「知的財産権と中小企業の高品質な発展フォーラム」が開催（広東省市場監督管理局公式サイト 2021年9月22日）

【その他地域】

4. 陝西、「十四五」知的財産権発展計画を発表 7つの重点任務を打ち出す（国家知識産権戦略網 2021年9月15日）

○ 司法関連の動き

1. 第2回国際知的財産権司法保護シンポジウムが北京で開催（中国打撃侵権工作網 2021年9月18日）

○ ニセモノ、権利侵害問題

【中央政府】

1. 市場監督管理当局が知財侵害などの摘発に注力 上半期で15万件摘発（国家市場監督総局公式サイト 2021年9月16日）

【華南地域】

2. 広東、知的財産権侵害・模倣品を取り締まる「百日行動」を実施（中国打撃侵権工作網 2021年9月22日）

○ 中国企業のイノベーションと知財動向

1. 中国専利保護協会、人工知能専門委員会を設立（中国知識産権资讯网 2021年9月18日）
2. 中国企業が開発したスマート SHIPPING コンテナ船、海上試験に成功（中国政府網 2021年9月14日）

○ 統計関連

1. 中国の研究開発投入、長年連続の2桁成長を維持 昨年は10.2%増（中国政府網 2021年9月23日）
2. 「グローバルイノベーション指数」、中国は12位で過去最高（中国政府網 2021年9月21日）
3. 中国、1~8月実行ベース外資利用額が同期比22.3%増（商務部公式サイト 2021年9月16日）

○ その他知財関連

1. 第 28 回北京国際図書博覧会が閉幕 著作権輸出契約 4835 件締結(中国知識産権资讯网 2021 年 9 月 22 日)

● ニュース本文

○ 法律・法規等

★★★1. 北京、「知的財産権保護条例(草案)」を審議 技術調査官制度導入へ★★★

9月23日、北京市第15期人民代表大会常務委員会が開いた第33回会議で「北京市知的財産権保護条例(草案)」が審議された。同「条例」は、司法事件処理の効率・能力を高めるために、知財紛争の多元的な調停を推進し、技術調査官制度と弁護士調査令制度を導入する方針を明確にした。

技術調査官制度について、裁判所、検察院、知的財産権保護管理部門は特許やコンピュータソフトウェア、集積回路配置図設計、ノウハウ、植物新品種などの技術性が高い知的財産権事件に当たって、専門技術者を技術調査官として招請し、事件の関わる技術問題について調査意見を提供してもらうことができるとしている。

「条例」にはまた、インターネットやビッグデータ、人工知能を含む新技術、新業態などにおける知的財産権の管理措置、保護体制の模索を奨励することや、外国のサービス機関による北京での業務展開を支援することなどの内容が盛り込まれている。

(出典：北京市知識産権局公式サイト 2021年9月23日)

http://zscqj.beijing.gov.cn/art/2021/9/23/art_5662_613382.html

○ 中央政府の動き

★★★1. 中国政府、2035年に向けた「知的財産権強国建設綱要」を発表★★★

中国共産党中央委員会及び国務院はこのほど、「知的財産権強国建設綱要(2021~35年)」を發布し、各地方の関連部門に対して、実情に合わせて真剣に実行するよう求めた。

「綱要」は、2025年までに知的財産権強国の建設で顕著な成果を手にし、特許集約型産業の付加価値の対GDP比を13%に、著作権産業付加価値の対GDP比を7.5%に引き上げるとともに、知的財産権使用料の年間輸出入総額を3500億元(1元は約17円)に、人口1万人当たりの高価値な特許の保有件数を12件に引き上げるとの目標を盛り込んだ。

また、2035年までには知財関連制度を完全に整え、知的財産権の総合的な競争力において中国が世界先頭集団に入るようにし、中国の特色ある、世界レベルの知的財産権強国をほぼ築き上げるとしている。

そのために、専利法、商標法、著作権法などの法改正を進めると共に、ビッグデータや人工知能、遺伝子工学といった先進技術分野や新しいビジネス形態に関連する知的財産権の保護を強化するための法整備も行う方針を明確にした。

(出典：国家知識産権網 2021年9月22日)

https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/9/22/art_53_170293.html

★★★2. CNIPA 甘紹寧副局長と USCBC マルグリーズ副会長がビデオ会談★★★

中国国家知識産権局(CNIPA)の甘紹寧副局長は9月16日、中国に進出する米企業などで構成する米中ビジネス評議会(USCBC)のマシュー・マルグリーズ副会長とテレビ会議形式で会談した。USCBCから多くのメンバー企業の代表者が会議に出席した。

甘副会長は、両国の貿易促進や知的財産権保護、イノベーション促進などに関するUSCBCの取り組みを称賛し、これまでに開放的な姿勢で米国を含む各国の権利者、利害関係者と良好な交流を続けてきたCNIPAとしては、今後もUSCBCと対話や交流、協力を拡大していきたいと表明した。

マルグリーズ副会長は、中国の知財保護活動は両国の安定的な経済・貿易関係の構築に寄与するものだとして評価し、今後も意思疎通や協力を絶えず強化していきたいと語った。

CNIPA関係部署の責任者は会議において、「専利法」改正後の審査基準やデジタル時代の知財保護、医薬品特許紛争の早期解決メカニズムなどについて説明を行った。

(出典：国家知識産権網 2021年9月18日)

https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/9/18/art_53_170252.html

★★★3. 在中国米国商工会議所代表団が国家知識産権局を訪問★★★

9月15日、在中国米商工会議所（AmCham China）のアラン・ビーベ会長率いる代表団が国家知識産権局（CNIPA）を訪問し、甘紹寧副局長と会談を行った。

甘副局長は、中国の知的財産権発展は在中国米商工会議所を含む各国の商工会議所、業界協会、権利者のサポート、関心を必要としているとの認識を示し、今後も引き続き積極的、開放的な姿勢で各国の権利者と交流を行い、信頼を深めたいと語った。ビーベ会長は、CNIPAとメンバー企業を結ぶ交流の場を作り、双方間の対話、協力を推進したいと表明した。

双方は会議において、中国の知的財産権関連の政策、法律や、薬品特許紛争の早期解決メカニズム、薬品特許期限補償メカニズム、越境電子商取引の知財保護などを巡って意見を交わした。

（出典：国家知識産権網 2021年9月16日）

https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/9/16/art_53_170102.html

○ 地方政府の動き

【華東地域】

★★★1. 安徽、市場監督管理局など13部門が「網剣行動」を共同実施★★★

安徽省市場監督管理局と省公安厅、省商務庁、合肥税関など13部門が、今年度のインターネット市場監視管理特別行動「網剣行動」を9月から12月にかけて、共同で実施することを決定した。

各部門は電子商取引プラットフォームに焦点を当て、プラットフォーム管理システムの整備、データの提供、知的財産権保護などの義務を履行するよう事業者に促すこととしている。この中で、知的財産権侵害行為や模倣品の販売を厳しく取り締まることに特に重点が置かれているという。

市場監督管理局責任者は、「網剣行動」で確実な効果を上げるよう、オンラインとオフラインの手段を両立させ、地域をまたぐ横断的な法執行体制を十分に活用するなどの方針を表明した。

（出典：中国打撃侵權工作網 2021年9月18日）

<http://www.ipraction.cn/article/gzdt/dfdt/202109/355940.html>

★★★2. 上海、ブランド評価モデルの開発と利用プロジェクトが開始★★★

上海市知識産権局が主導するブランド評価モデルの開発と利用プロジェクトがこのほど、正式に開始した。

上海東方ブランド文化発展促進センターが請け負ったこのプロジェクトは、「ブランドの価値が評価しにくい」などの課題を掘り下げて研究して、銀行や企業、産業パークの様々なニーズに対応したブランド評価モデルを開発し、上海のブランド運営と管理を後押しすることが狙いである。

ブランド評価モデルは、銀行による担保融資、企業によるブランド育成、産業パークによる実績評価、政府部門による管理活動などのために、ブランドの価値を評価するツールを提供する。評価、法律、商標などの実務に携わる専門家や、銀行、企業などからの関係者が招請され、共に研究を推し進めるといふ。

（出典：中国知識産権資訊網 2021年9月18日）

http://www.iprchn.com/cipnews/news_content.aspx?newsId=131050

【華南地域】

★★★3. 広州で「知的財産権と中小企業の高品質な発展フォーラム」が開催★★★

9月16日、第17回中国国際中小企業博覧会の一環として、知的財産権と中小企業の高品質な発展をテーマとしたフォーラムが広州で開催された。

今回フォーラムは中国国際中小企業博覧会に初めて設けられた知的財産権イベントで、政策体系、サービス体系、発展環境の3分野を巡って、中小企業の知的財産権保護に焦点を絞って、「知的財産権戦略と管理」「高価値特許の育成とポートフォリオ」「知的財産権司法保護の実践」「海外における知的財産権ポートフォリオと訴訟攻防」「商標ポートフォリオとブランド戦略管理」「企業内部における知的財産権の全プロセス保護メカニズムの構築」の6テーマについて議論が交わされた。

フォーラムではまた、「広東省の戦略的産業クラスターにおける中小企業の知的財産権発展状況」報告書が発表された。

（出典：広東省市場監督管理局公式サイト 2021年9月22日）

http://amr.gd.gov.cn/zwdt/xwfbt/content/post_3533965.html

【その他地域】

★★★4. 陝西、「十四五」知的財産権発展計画を発表 7つの重点任務を打ち出す★★★

2021年から2025年までの第14次五カ年計画（十四五）期における陝西省の「知的財産権発展計画」がこのほど発表された。省知識産権局と省発展改革委員会が共同で作成したこの計画は、特許や商標、著作権、地理的表示、植物新品種などの各種の権利をカバーする陝西省初の専門計画である。

同「計画」は、「十四五」期の陝西省の知的財産権活動について、高品質な発展や知財保護の全面的強化、知的財産権の総合力の向上などを目指し、▽知的財産権の創造レベルの全面的な向上、▽知的財産権の転化・運用の加速、▽知的財産権保護の強化、▽知的財産権の高効率な管理の統括・推進、▽知的財産権サービス支援能力の向上、▽知的財産権の人材育成と普及啓発の強化、▽知的財産権分野の開放、協力の促進——といった7つの重点任務を打ち出した。

また、指導の強化や支援資金の増額、実施体制の健全化、監視・評価の強化を含む4つの面から「計画」の確実な実施をサポートするよう求めている。

（出典：国家知識産権戦略網 2021年9月15日）

<http://www.nipso.cn/oneNews.asp?id=52920>

○ 司法関連の動き

★★★1. 第2回国際知的財産権司法保護シンポジウムが北京で開催★★★

9月16日、「国際対話と規範協調」をテーマとした第2回国際知的財産権司法保護シンポジウムが北京で行われた。最高人民法院の中国人民大学に設置した知的財産権司法保護理論研究基地が主催した。国内外からの知的財産権分野の裁判官、専門家が「標準必須特許の許諾要件の確定と権利侵害の救済規則の協調」「特許訴訟における禁止令と訴訟差止命令の適用とその規則の協調」など、特許訴訟に関するホットな課題を巡って踏み込んで議論を交わした。

最高人民法院知的財産権法廷や上海、江蘇、湖北、広東などの高級法院、中級法院からの裁判官と、ドイツ連邦最高裁判所、英国高等裁判所の裁判官、中国人民大学や北京大学、清華大学、中国情報通信研究院、チューリッヒ大学などからの専門家が会場またはオンラインでシンポジウムに出席した。

（出典：中国打撃侵權工作網 2021年9月18日）

<http://www.ipraction.cn/article/xwfb/gnxw/202109/355885.html>

○ ニセモノ、権利侵害問題

【中央政府】

★★★1. 市場監督管理局が知財侵害などの摘発に注力 上半期で15万件摘発★★★

全国の市場監督管理局は、知的財産権の法執行に関する特別行動などを実施し、重点分野、重点商品、重点市場に対する監視管理のさらなる強化に注力している。今年上半期には、権利者や消費者の合法的權益の保護、市場・経済秩序の維持、良好なビジネス環境の整備をねらい、行政法執行の抑止力を積極的に発揮するよう取り組んでいた。

1～6月、全国の市場監督管理局は各種の特別行動において、知的財産権侵害、模倣品に関わる約15万件の事件を摘発した。この中で、商標権侵害事件は1万4400件であった。権利侵害、模倣品が多発する市場を対象に実施したエンフォースメントは4万回を超えているという。

（出典：国家市場監督総局公式サイト 2021年9月16日）

http://www.samr.gov.cn/xw/zj/202109/t20210916_334809.html

【華南地域】

★★★2. 広東、知的財産権侵害・模倣品を取り締まる「百日行動」を実施★★★

全国で現在進められている「品質月間キャンペーン」にあわせたイベントとして、広東省は知的財産権侵害行為と模倣品の製造販売を取り締まる「百日行動」を開始した。

広東省市場監督管理局の責任者によると、今回特別行動は高品質な発展を促進する重要施策の一つで、各地方の関連当局で「品質月間」や第130回広州交易会の準備活動などに合わせて推し進める方針である。食品・薬品、介護用品、アパレル、電子製品、玩具などの業界に重点を置き、電子商取引プラットフォームやライブコマースなどに焦点を絞り、様々な措置を講じて、知的財産権侵害行為や模倣品の製造販売を迅速且つ厳しく取り締まることとしている。

（出典：中国打撃侵權工作網 2021年9月22日）

<http://www.ipraction.cn/article/gzdt/dfdt/202109/356112.html>

○ 中国企業のイノベーションと知財動向

★★★1. 中国専利保護協会、人工知能専門委員会を設立★★★

中国専利保護協会は人工知能（AI）専門委員会を設立した。9月16日、同委員会が設立式と第1回全体会議を北京で開催した。

約30社の国内AI企業からの関係者が専門委員会の委員に選ばれ、オンラインまたは会場でイベントに参加した。

人工知能委員会は、▽加盟企業間の協力強化、▽産業チェーンの集積と知的財産権分野の能力構築の促進、▽政府、大学、知的財産権サービス機構による多面的な協力関係の強化——などに注力する。また、国家知識産権局や中国専利保護協会の活動を積極的にサポートし、中国人工知能産業の競争力や影響力の向上、産業のグレードアップを後押しするよう取り組むこととしている。

(出典：中国知識産権资讯网 2021年9月18日)

<http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/qt/202109/1964980.html>

★★★2. 中国企業が開発したスマート SHIPPING コンテナ船、海上試験に成功★★★

中国の企業と科学研究機構が共同開発したスマート SHIPPING コンテナ船「智飛号」がこのほど、山東省青島市の女島の海域で海上試験に成功した。

「智飛号」は人工操縦、リモート操縦、自律航行という3つの操縦モードを持つ。航行環境のスマートな感知・認識、自動トラッキング、航路の自律計画、スマート障害物回避、自動停泊・出港、リモート操縦を実現できる。さらに、人工操縦モードによって操縦士に情報や環境認識、回避方策、安全警報などの全方位的な支援を提供できる船舶航行補助システムを搭載しているという。

(出典：中国政府網 2021年9月14日)

http://www.gov.cn/xinwen/2021-09/14/content_5637219.htm

○ 統計関連

★★★1. 中国の研究開発投入、長年連続の2桁成長を維持 昨年は10.2%増★★★

中国国家统计局、科学技术部、財政部はこのほど、「2020年全国科学技術経費投入統計公報」を共同で発表した。中国の昨年の研究開発（R&D）費は前年比2249億5000万元増（1元は約17.0円）の2兆4393億1000万元で、同10.2%増加した。第13次五カ年計画期間中（2016～2020年）の2桁成長を維持できた一方、新型コロナウイルス感染症などの影響により、伸び率が低下し、前年より2.3ポイント落ちた。また、研究開発費投入強度（対GDP比）は前年比0.16ポイント増の2.40%だった。

主体別に見ると、企業の成長が目立った。2020年の企業の研究開発費は1兆8673億8000万元で、前年比10.4%増加し、全体の76.6%を占めている。

産業別に見ると、ハイテク製造業の研究開発費の支出は4649億1000万元で、投入強度（対売上比）は前年比0.26ポイント増の2.67%。設備製造業は9130億3000万元で、投入強度が0.15ポイント増の2.22%となっている。

(出典：中国政府網 2021年9月23日)

http://www.gov.cn/xinwen/2021-09/23/content_5638783.htm

★★★2. 「グローバルイノベーション指数」、中国は12位で過去最高★★★

世界知的所有権機関（WIPO）がこのほど発表した2021年版「グローバルイノベーション指数（GII）」によると、中国の国家イノベーション指数は総合ランキングで世界12位になり、前年から順位を2つ上げた。中所得エコノミーとしては唯一、上位30位以内に入った。

GIIは、WIPOが毎年、世界130カ国以上の経済革新能力を測定して発表する指数である。世界1位は昨年に続いてスイスで、2～10位はスウェーデン、アメリカ、イギリス、韓国、オランダ、フィンランド、シンガポール、デンマーク、ドイツの順だった。

GII2021の調査結果によると、中国の順位は2013年より9年連続で上昇している。GIIは「これは、イノベーションを奨励する政府の政策とインセンティブが重要であることを明確にしている」と指摘した。

WIPOのダレン・タン事務局長によると、今年は新型コロナウイルスが世界各国の人々の暮らしに甚大な影響を及ぼしたにもかかわらず、デジタル化、テクノロジー、イノベーションを重要視している多くのセクターを中心に、素晴らしい回復力が見られた。ソフトウェア、インターネットと通信技術、ハードウェアと電気機器、製薬とバイオテクノロジーなどの業界の企業は、イノベーションと研究開発への投資を増やしたという。

(出典：中国政府網 2021年9月21日)

http://www.gov.cn/xinwen/2021-09/21/content_5638572.htm

★★★3. 中国、1～8月実行ベース外資利用額が同期比22.3%増★★★

中国商務部はこのほど、1～8月までの全国の実行ベースでの外資利用額は7580億5000万元（1元は約17.0円）で、前の年の同じ時期に比べて22.3%増加した（ドル建てでは前年同期比27.8%増の1137億8000万ドル。銀行、証券、保険を除く）ことを明らかにした。

業種別に見ると、ハイテク産業が外資利用の注目ポイントとなった。サービス業の実行ベース外資利用額は5993億3000万元で、前年同期に比べて25.8%増加したのに対して、ハイテク産業の成長率は30.2%だった。そのうち、ハイテクサービス業は35.2%増、ハイテク製造業は14.9%増であった。

主な投資元国・地域で見ると、「一帯一路」（the Belt and Road）沿線国からの実行ベース外資利用額は同37.6%増、東南アジア諸国連合（ASEAN）国家からは同36.8%増となっている。

地域別では、東部、中部、西部地区の実行ベース外資利用額はそれぞれ23%、30.1%と1.6%の増加が見られた。

（出典：商務部公式サイト 2021年9月16日）

<http://www.mofcom.gov.cn/article/ae/sjld/202109/20210903199610.shtml>

○ その他知財関連

★★★1. 第28回北京国際図書博覧会が閉幕 著作権輸出契約4835件締結★★★

9月18日、第28回北京国際図書博覧会（BIBF）が幕を下ろした。5日間にわたって来場型及びオンライン型で同時開催されたこの図書の盛会は、図書の著作権に関する国際貿易、協力だけでなく、国際文化の交流も促進した。博覧会で4835件の著作権輸出契約が締結され、契約数は前回は10%上回っている。

今回博覧会に105国・地域からの約2200社が出展し、この中で約1600社は会場に出展した。海外からの出展者には出版業界の世界トップ50社にランクインした複数の企業が含まれ、出展国は前回に比べて8国増加した。博覧会で達成された契約は、輸出が前回は10%以上増えた4835件、輸入が同3.9%増の2486件、合わせて同7.9%増の7321件であった。

（出典：中国知識産権资讯网 2021年9月22日）

http://www.iprchn.com/cipnews/news_content.aspx?newsId=131079

【中国 IPG のご紹介】

中国 IPG（Intellectual Property Group in China、中国知的財産権問題研究グループ）は、在中日系企業・団体による、知財問題の解決に向けた取り組みを行うことを目的とした組織です。

主な活動には、年5回開催する予定の全体会合（メンバー間の情報交換や各種講演を実施）や、特定テーマについての検討を行う専門委員会、会員の所属業界における知的財産問題についての情報交換を行うWG等があります。その他、知財関連法令についての意見募集への対応等を行っています。

ご関心・ご参加をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

★中国 IPGweb サイト：<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/ipg/>

★中国 IPG 事務局（ジェトロ・北京事務所 知的財産権部）

Tel: +86-10-6528-2781、E-mail: pcb-ip@jetro.go.jp

【配信停止・配信先変更】

配信停止を希望される場合は、下記の URL にアクセスの上で「Unsubscribe」ボタンを押して下さい。

配信先を変更したい場合は、配信停止をした上で新たな E メールアドレスをご登録ください。

https://www.jetro.go.jp/mail5/u/!p=tTW_GIj5ntM53_3CF1ZAZAZ

【ご感想・お問い合わせ】

本ニュースレターに対するご感想・お問い合わせ等がございましたら下記までご連絡下さい。

日本貿易振興機構（ジェトロ）北京事務所知的財産権部

TEL : +86-10-6528-2781

E-Mail : pcb-ip@jetro. go. jp

【著作権】

本ニュースレターの著作権はジェトロに帰属します。

本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断りいたします。

【免責】

ジェトロはご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行ってください。

本文を通じて皆様に提供した情報の利用（本文中からリンクされているウェブサイトの利用を含みません。）により、不利益を被る事態が生じたとしてもジェトロはその責任を負いません。

【発行】

日本貿易振興機構（ジェトロ）北京事務所知的財産権部

=====

Copyright JETRO Beijing IPR Department, all rights reserved